

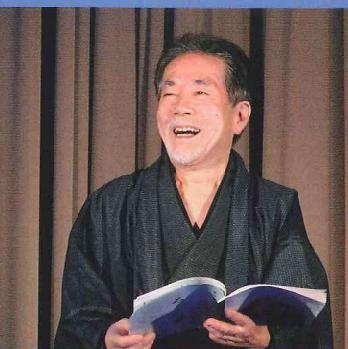
編集・発行  
若松地域センター管理運営委員会

## ふれあい情報誌

# わがまち



2020年 12/15 発行



### 朗読で聴く怪談 第11回 「小泉八雲の世界」

今年は小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の生誕170年(1850)となります。晩年の5年ほど、富久町(現在の成女子学園女子中学高等学校)に住居を構え、近くにある自證院円融寺(瘤寺)の樹木の多い風景をとても好んだそうです。

新宿区は平成元年(1989)に八雲が生まれたギリシャ、レフカダ島と友好都市を結び、それを記念して平成5年(1993)に、終焉の地、大久保に「小泉八雲記念公園」をつくりました。日本をこよなく愛した人物が若松地区に身近に存在、その文化的魅力を再発見していただければと始めた朗読で聴く怪談 第11回「小泉八雲の世界」ですが、コロナ禍の最中、検温や消毒、換気や密対策を講じ、来賓でお越しの吉住健一区長には最後までお聴きいただきました。文化の灯は絶やしてはならないと、多くの関係者の方々のご支援により開催出来ましたことに深く感謝申し上げます。

若松地域センター管理運営委員会 会長 河原田 安啓

〈事務局〉162-0056 東京都新宿区若松町12-6 若松地域センター内 連絡先 03-3209-6030 デザイン:中村(上月)伸仁



若松町特別出張所  
所長 北沢 聖子

皆さまこんにちは。令和2年4月1日から若松町特別出張所長に着任しました北沢聖子と申します。着任した当初は、新型コロナウイルスにより街中に人通りも少なく、不安を抱えてのスタートでしたが、地域の皆さまが様々工夫を凝らすことにより、少しずつコミュニティ活動が戻ってきています。この若松地区のコミュニティが保たれるよう、地域の皆まとともに力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



若松地域センター事務局長 佐藤 泰丘

4月から若松地域センターの事務局長に着任いたしました佐藤泰丘です。精一杯勤めさせていただきます。前任の佐々木事務局長同様、宜しくお願いいたします。



### ◆余丁町会・商店会と余丁町小学校の協働による「笑顔プロジェクト」です。

「コロナに負けない」をテーマにした、余丁町小児童全員の絵が、余丁町通りの街灯に12月末まで掲げられています。

是非、ご覧ください。



### ◆花が咲き誇る広場

地域センター管理運営委員会のスタッフで、特別出張所前の花壇とプランターに可憐な花々を植えました。来所の折には、是非足を止め眺めてみてください。

「私の人生は芸の旅で 命ある限り修行である」  
新宿箏笥地区にある中町は、箏曲の演奏家であり「春の海」をはじめ多数の作曲家として知られた「宮城道雄」が後半生を送ったゆかりの地です。「宮城道雄記念館」のご協力を得、映像と箏の生演奏で「宮城道雄の世界」を紹介します、「どうぞ期待ください。」



「わがまちわかまつ」は  
ふれあい情報誌です。

若松地域の情報をお寄せください。

若松地域センター事務局

FAX (3209) 6031

連絡先を明記してください。

(7月、12月、3月、  
年3回発行)

### ◆若松地域センター管理運営委員会 第30回委員総会報告

今年度委員総会は、新型コロナウイルス感染防止のため書面による表決とし、委員40名中39名から全議案賛成の回答がありました。

議案:令和元年度事業・決算・監査報告

令和2年度事業計画案・予算案



### ◆若松地域センターの利用について

★年末年始の休館日

令和2年12月28日(月)正午～令和3年1月3日(日)

★登録団体予約受付日

2月分:1月9日(土)、3月分:2月6日(土)

## 若松地区・町別人口

住吉町=2,792 市谷台町=1,405 富久町=7,217 河田町=2,950 若松町=5,850 余丁町=4,115  
戸山1丁目=2,584 戸山2丁目=5,261 戸山3丁目=1,084 新宿区人口=344,203 (2020.11.現在)

第4回文化シリーズ予告  
2021年2月14日(日)14時

# 新型コロナウイルスに負けないぞ!

特集 若松地域の学校から「コロナに負けない子どもたち」の様子をお寄せいただきました



新宿区立牛込仲之小学校 校長 勝沼 康夫

新型コロナウイルス感染症対策のため例年のような運動会を実施することができず、その代わりに10月26日～30日に、学年別の「スポーツフェスティバル」を実施しました。この行事のねらいは「仲間と共に運動することの楽しさを体得させる」「創意工夫してやり遂げようとする自主的な態度を育てる」です。学年の発達段階によって児童が競技種目を考えたり、放送や用具の出し入れ等の運営に携わったり、応援を工夫したりしました。

通常の運動会で高学年児童がやる係活動の仕事を、低・中学年児童がやる姿に頼もしさを感じました。

今後とも児童の見守りや応援をよろしくお願いいたします。



新宿区立富久小学校 校長 井口 美由紀

富久小学校では、授業や休み時間において工夫を重ね、新しい生活様式の中で活気が戻ってきています。個々の机につづつ設置されたシールド越しに行なう話し合い活動や、パソコンを用いたプログラミング学習による思考活動と表現活動など、考え、発信し、交流の中で学び合う日常を送っています。

そして、児童と教職員だけで実施する開校90周年記念式典では、今年度初めて富久太鼓を演奏します。日頃から頼もしい6年生の児童から、次の最上級生になる5年生の児童へ、叩き方やリズムが熱心に指導されています。校舎を震わす太鼓の響きは、途切れることない継承の象徴です。元気なかけ声と太鼓の音が、また地或に響く日を楽しみにお待ちください。



東京韓国学校 初等部 教頭 李勳雨

東京韓国学校は、1954年開校した韓国学校で韓国教育課程を基本に日本教育課程と英語圏教育課程も一緒に取り入れトライリンガル教育を目指しています。

現在はCOVID-19の状況で、オンライン授業と対面授業を並行しながら柔軟に対応しています。東京韓国学校のみんなは一丸となって、どんなに厳しい状況でも一緒に力を合わせれば何でも解決できるという思いで努力しています。

私たちは皆この地域で一緒に暮らしている住民です。同じ世代の現在を生きている共同命体なのです。「あなた」、「私」と言う個体ではなく、「私たち」で幸せな元の日常生活に戻るように一緒に力を合わせましょう。力を合わせ、同じ気持ちで一緒にこの困難を乗り越えるように努力していきましょう。



新宿区立余丁町小学校 校長 古谷 勉

余丁町小学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を行なながら、できる限り通常の教育活動を進めています。

先日は4年生がミニ運動会を行い、縄跳びを使った表現運動やリレーなどをしました。児童が楽しそうに活動している姿に、見ているこちらも元気をもらいました。

また、朝の健康観察では、教職員が健康カードを確認する際、一人一人に「おはよう」、「元気ですか」と言葉を掛けといったことで、最近では児童自ら「おはようございます」と挨拶をするようになりました。廊下ですれ違う際にも「こんにちは」と挨拶を交わす場面も増えてきています。今後も感染対策を取りながら、児童が明るく元気に学校生活を送れるよう努めてまいります。



新宿区立東戸山小学校 校長 江原 敦史

「動物が教えてくれた命の大切さ」

東戸山小学校では親子2頭のヤギを飼育していましたが、10月に9年間可愛がってきた親ヤギの「ハッピー」が夭寿を全うし亡くなりました。

全校児童はもとより、これまで長年に渡って関わってくださった卒業生や保護者・地域の方々も大変悲しみました。しかし、ハッピーはこの9年間、命の大切さについて身をもって私たちに教えてくれました。ハッピーが教えてくれた大切なことを胸に抱き、もう1頭の白ヤギの「スマイル」の世話をしながら、子どもたちは毎日の学校生活に一生懸命取り組んでいます。



新宿区立新宿中学校 校長 片倉 元次

全国一斉の学校休業から分散登校を経て、ほぼ通常の教育活動が行えるようになりました。この間、地域の皆様には多大なるご協力をいただきありがとうございました。

COVID-19については、感染経路、治療法、感染してからの経過など世界中の研究機関が明解に向けての調査・研究を急ピッチで進めていますが、まだまだ予断を許さない状況です。

新宿中では、このような現状を生徒が正しく理解し、体調管理や手洗いの徹底など自己指導力を高めながら、自律的な学びを身に付ける良い機会としたいと考えています。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



「第11回 箱根山駅伝大会2020」は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止とさせていただきます。

箱根山駅伝大会2020実行委員会

